



THE BRAND

開発した新素材を使いこなす熟練の技

1本の鍛造アルミホイールが企画から製品となって皆さんの手元に届くまでには、数え切れないほどの工程がある。今回紹介するTWSは、自社で企画から製造、そして販売に至るまで、すべてを一貫して行う数少ない鍛造ホイールブランドだ。

最大圧力8000トンを誇る超巨大な鍛造機を使い、アルミの材料を一本一本文字通り鍛えていく様は、何とも非効率ではある。しかしこの行程こそ鍛造ホイールの命である鍛造機の命である。しかしこの流れが生まれる瞬間であり、軽量かつ高剛



TAN-EI-SYA
WHEEL SUPPLY
執行役員
長原幸次サン

←今後は新素材UDMを使ったモデルをさらに増やしていくという構想を語ってくれた長原サン。取材時は来季のF1に向けたホイール用素材の製造で鍛造機はフル稼働のこと

↑鍛造後の素材（右端）を裂いたのが左。薄かったものを立体的に裂いて開くことで密度が増していく。TWSの誇る技術だ



熟練の技が活かされるホイール作りの現場



↑右上はバリ取り、左上は振れ検査、右下は組み付けと、多くの工程に職人の手が介在するのもTWSの特徴。工業製品というよりも工芸品と呼ぶ方が相応しいように思える

美しい造形を生み出す
最新鋭の切削マシンを導入



↑NCに掛けたのち、マシニングセンタによる切削が始まる。立体的なスポークやディテールを作り出すための重要な工程だ。複雑な造形になればなるほど、刃先を制御するプログラムも難易度が高くなる。切削すると鍛造線が切れるという話があるが、強度的にはまったく問題ない



高い負荷が掛かるホイールだからこそ、検査は確実に行われる。規定よりも時間や負荷を上げた状態でテストが繰り返されるのだ



↑塗装工程も自社内。
粉体塗装と溶剤塗装の
両設備が備わっている。
ヘアライン仕上げのみ
外注しているそうだ



TWS

素材開発から製造まで行う 純国産鍛造ホイールブランド

北陸富山に拠点を構える鍛造ホイールメーカー、TWS。

ホイールの性能を上げるために、その素材に注目。

産学連携による研究の結果、

超光剛金Ultra Dura Metal A72T4という新素材を開発。

開発と製造が直結したTWSの生産の現場から、

そのブランドの強さに迫った

問○TAN-EI-SYA WHEEL SUPPLY TEL:0766-86-0117 www.tws-forged.com
写真○木村博道 文○熊崎圭輔 (af imp.)